

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和 5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38788	
事業名	クロスメディア広報費						
評価担当課	所 属(総) 広報部 広報課				電話番号	011-211-2036	
施策名	—						
アクションプラン	○対象 ●対象外						
事業の性質	●経常経費		○臨時的経費		○内部管理		
	○直営		●一部委託		○法定経費		
			○全部委託		○補助・助成		
			○その他				
事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	①個人による活発・多様な情報発信が進む中、札幌の魅力を的確に伝えるためには、行政による情報発信のみならず企業や市民などによる多面的な情報発信が必要であり、また、本市が掲げるまちづくりの重要概念である共生社会の実現に向けては、市民がその理念を自分事として捉えることが重要である。さまざまな広報媒体の活用や多方面からの伝え方を工夫して、市民と情報共有を図ることが肝要である。 ②報道機関（新聞・テレビ・ラジオなど）を通じた市民への情報提供は、即時性があり、伝達範囲も広いことから、非常に広報効果が高く、市民との情報共有が重要度を増す中で、一層高まっている。					
	事業内容（何を実施し）	①各種メディアによる広報・魅力発信 ・市民への市政情報の周知啓発と市民の札幌への愛着心（シビックプライド）醸成を目的に、広報テレビ番組年間120本（4局4番組）、広報ラジオ番組年間124本（4局4番組）を制作、放映。市内デジタルサイネージ18媒体及びSNS（X：フォロワー135万人、LINE：友だち数19万人）でイベント情報や災害情報等を発信。 ・企業との連携や市民が自ら発信したくなるようなきっかけの提供を行いながら、SNSやイベントを通してサポロスマイルを活用したシティプロモーションを実施。 ・共生社会の実現や持続可能で魅力あるまちづくりの実現に向けた意識醸成を目的に、年間12回の地域情報誌への広告掲載をはじめ、SNSの運用や写真撮影スポットとなるモニュメントの設置、啓発イベントを実施。 ・市民に対し、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」の重要概念の意味や取組内容を広く周知・共有を図り、まちづくりに対する関心を高めることを目的に、テレビ5局の夕方ワイド番組等にて、市長が出演する特別番組を制作放送。 ②報道機関への情報提供 ・記者会見（定例19回（市政記者クラブ主催）、臨時4回（札幌市主催））や報道機関への説明会（記者レク 11回）、プレスリリース（2581件）を実施。					
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	共生社会の実現や持続可能で魅力あるまちづくりの実現に向けた市民の意識醸成を図り、市政情報や街の魅力について市民との情報共有を進めるとともに、市民の札幌への愛着心を育み、市民が主体となったまちづくりを進めていきたい。					
	他都市の状況	広報テレビ・ラジオ番組や動画・SNSを使った情報発信や報道機関への情報提供は、他指定都市でも同様に実施している。					
	市民参加の実施	■ 企画 ■ 実施 ■ 評価 □ 対象外					
令和 4年度決算額	103,049 千円	うち特定財源	3,900 千円	正規職員業務量	6.00 人工		
令和 5年度予算額	87,699 千円	うち特定財源	5,000 千円	正規職員業務量	7.00 人工		
令和 5年度決算額	91,951 千円	うち特定財源	5,000 千円	正規職員業務量	7.00 人工		
令和 6年度予算額	25,199 千円	うち特定財源	5,000 千円	正規職員業務量	7.00 人工		
指標	アウトプット活動指標 1	テレビ・ラジオ番組の放送回数（特別番組を含む）			という活動、業務を行うことで		
		令和 4年度実績	令和 5年度予定	令和 5年度実績	令和 6年度予定	令和 7年度予定	令和 8年度予定
		269	249	249	269		
	アウトカム成果指標 1	市民への情報提供等について「よくやっている」と思う人の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和 4年度実績	令和 5年度予定	令和 5年度実績	令和 6年度予定	令和 7年度予定	令和 8年度予定
		21.1	25	21.8	25		
	指標 1 の評価、未達理由、今後の考え方	令和 5 年度の市民意識調査の結果、市民への情報提供や相談に関する事業について「よくやっている」と回答した人の割合は21.8％であり、全体の1／4に満たないことから、広報番組の放送等を通して、市民の満足度の向上を図っていきたい。					
	アウトプット活動指標 2				という活動、業務を行うことで		
		令和 4年度実績	令和 5年度予定	令和 5年度実績	令和 6年度予定	令和 7年度予定	令和 8年度予定
	アウトカム成果指標 2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和 4年度実績	令和 5年度予定	令和 5年度実績	令和 6年度予定	令和 7年度予定	令和 8年度予定
	指標 2 の評価、未達理由、今後の考え方						
今年度の見直し内容	視聴者が見やすいよう、市長記者会見の動画配信用の機材を更新する。一部、政策経費化し、重要施策に関して様々なメディアの強みを掛け合わせた情報発信を行う。情報発信の多言語化に取り組む。						
来年度以降の方向性	札幌の魅力を的確に伝えとともに、共生社会の実現に向け、さまざまな広報媒体の活用や多方面からの伝え方を工夫して、市民と情報共有を図っていく。また、市民のみならず、国内外に向けて、街の魅力を広く発信する。						